

## 想定される地震とは別だった!!まだ起こる宮城県沖地震 切迫する巨大地震!! 日本全土に広がる8カ所の震源地

宮城県沖地震M8 (99%)、三陸沖北部地震M7.7 (90%)、東海地震M7.5 (86%)、…

日本近海では海溝型の巨大地震が今後三十年から五十年の間に四〜五回以上発生するといわれています。政府の地震調査委員会では、八月十六日に東北・関東地方を襲ったマグニチュード(M)7.2の地震は、想定されていた地震とは別と発表されており、宮城県沖地震は近い将来確実に発生するものと思われまます。今回の地震が引き金となり発生が早まるとの観測もあります。いずれにしても警戒が必要です。

周期的に起こる海溝型に対して、いつ発生するかわからないのが活断層による直下型地震です。昨年十月の新潟県中越地震や阪神大震災はその典型の地震です。日本列島は地震の活動期に入ったともいわれ、それを裏付けるかのようにM4クラス以上の地震が日本各地で頻発しています。地震の活動期は最後に巨大地震が勃発して静穏期に移行することがわかっています。過去のデータから巨大地震の前にはM7クラスの地震が複数回発生します。このM7クラスの直下型が逼迫していると予測されています。

今、住宅の耐震化対策が声高に叫ばれているのはこの為です。国土交通省の地震防災推進会議の提言を受けて、行政も民間住宅の耐震化制度を充実し始めました。耐震診断の技術も新しい診断法の普及で精度が向上し、耐震補強工法も充実してきました。

### 全国ネットのニュース番組

### 「報道ステーション」で紹介

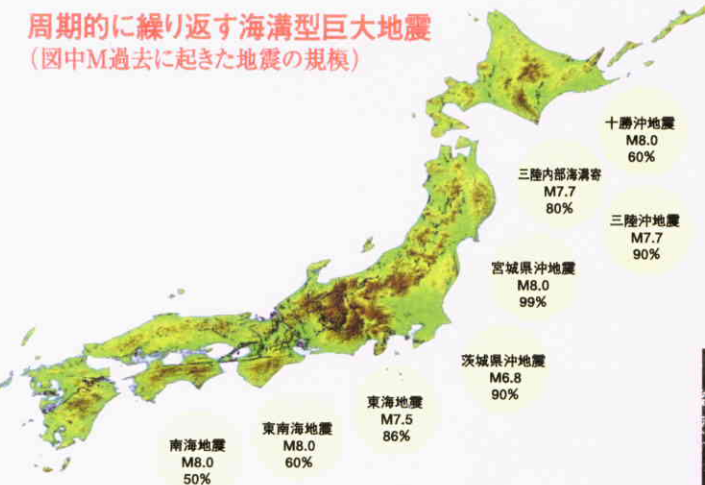
### 認証部材を使用した画期的な耐震補強工法

- ① 外部からできる
- ② 短工期で
- ③ ローコストな工法に引き合いが殺到

当協会の推奨する耐震補強部材「工法がマスコミ」で取り上げられ、外部からできるローコストな工法として脚光を浴びています。住みながら工事が可能であること、工期が短いことも人気の要因になっています。

また、耐震診断、補強提案も精密で丁寧であるとの評価を得ています。耐震診断、耐震補強は専門家でないとならない、目に見えない部分の工事になるため、診断士の良心と技術が問われる、信頼第一の仕事です。適正な耐震診断と耐震補強工事の普及が望まれます。

周期的に繰り返す海溝型巨大地震 (図中M過去に起きた地震の規模)



### 悪徳業者が横行しています!!

- 次のような業者は要注意です。
- ①「木造住宅の耐震診断と補強方法」に基づいた、適正な診断計算書を提出しない業者。
  - ②その場ですぐに補強工事を薦め、工事契約を強要する業者。
  - ③床下や屋根裏の補強工事を薦める業者。
  - ④無料診断を売りにしている業者。



写真は番組でも紹介された当協会の認証部材を使用した、ローコストで短工期にできる補強工事です。耐震診断は新しい診断方法で行いました。

## 内閣府認証の住調協が新しい診断法で耐震診断を実施します。

昨年7月に国土交通省監修の「木造住宅の耐震診断と補強方法」が改訂されました。新しい診断方法は現行の建築基準に対応した適正な補強計画が行えるようになりました。

- 受付地域：○○○○です。(地域コード:NH00000000)
- 受付期間：平成17年○月○日～○月○日まで
- 診断費用：20,000円(税別) ※延べ床面積150㎡まで
- 診断受付：☎0120-031-002 (年中無休AM9:00～PM6:00)

※上記の診断費用は本紙ご覧の方の特別価格です。通常は25,000円(税別)になります。

お申込みの方全員に「耐震改修ガイドブック」を差し上げます。



特定非営利活動法人(内閣府認証)

日本住宅性能調査協会

本部 東京都渋谷区幡ヶ谷1-5-4  
URL [www.jyuutakuseinou.net](http://www.jyuutakuseinou.net)  
TEL 03-5365-4402

